

2016 参議院選挙を振り返って

公明党も選挙区7名、比例区7名と過去最高の結果を出すことができ、党员 支持者の皆様 県民の皆様に変感謝しております。

千葉県本部としては若干目標に届きませんでした、大きな票をいただいたと実感しています。前回と比べて5000票伸ばしたので、公明党の全国の得票の伸びが5000票、千葉が頑張った分、全国の押し上げになったと認識しています。

参議院選では、自民党との協力がうまくいきました。お互いに時局講演会等に出席をしたり、共通の時局講演会のお知らせ文書をつくったり、選挙用のはがきで「比例区は公明党」と呼びかけていただいたり、これまでにない新たな取り組みが、かなり前進しました。その結果、お互いにいい結果が出ました。今後衆議院選挙があった場合には、それぞれ自民党選挙区の候補者とちょうど我が党の県本部の13総支部と合っていますので、それぞれの総支部と衆議院の候補者との間で参議院選挙と同じような協定ができればと、自民党県連の櫻田会長と話しをしています。



トランプ氏の大統領就任 日米関係の行方は

安倍総理は就任前のトランプ氏と選挙後すぐにお会いしていますし、昨年暮れにはハワイに行ってオバマ大統領とも会談をされているので日米関係が今後揺らぐことはないと思います。突然どんな行動をされるのかという不安はまだまだ払拭できてはいませんが、トランプ氏は中国の南沙海の進出問題についても自分の意見を述べていますので、日米安全保障を基軸に今後、日米関係を前進させていただけるのではないかと考えています。

給付型奨学金制度の実現に向けて



奨学金は、現状は有利子無利子でも返還しなければなりませんから、そうではなくて、ヨーロッパやアメリカにあるような給付型の奨学金があれば進学を断念しなくてもいい方が年間5000人くらいいます。大学を途中で辞められる方の2割が経済的理由です。公明党は給付型を軸に据えた奨学金制度をつくりたいとずっと取り組んできました。

去年の4月22日に自民党のみなさんと一緒に安倍総理に具体的に給付型に取り組むべきだと申し入れをさせていただいて、総理も大

変関心を持っていただきました。

有利子から無利子へ、無利子から給付型への流れを明確に去年から今年にかけてつくってききましたので、ぜひ風穴を開けて、法律改正や予算の手当ても必要なので、平成29年度の4月から先行実施できるよう頑張っています。

今後の千葉県の課題として

医療・介護・子育て支援の様々な施設整備数が全国でほぼ最下位レベル。そこにきちんと財源が回っていないことが最大の課題だと思います。千葉県は観光資源も豊かで農林水産資源もこれだけ豊かな県はないと思いますので、観光を中心に経済を活性化させて、そこから生み出した財源を、医療・介護・子育て支援にきちんと回るようなシステムを県知事・県議団とともに国会議員がしっかりバックアップしていく必要があるので、そこに力を注いでいきたいと思っています。

今年の抱負

「経済・教育の再生」

もっと景気を良くして、実際に皆様の懐が温まるような経済対策を、これからも、うちづづけないといけないと思います。そのためにも日本は教育が一番の資源だと思いますので、教育再生実行会議で安倍総理と4年間議論してきた給付型奨学金もそうですが、だれもが学べるチャンスをきちんと政治の責任でつくっていきたいと思っています。

立法者の責任として、いじめがひとつでもなくなるように教育再生という思いに込めて、この一年、取り組んでいきたいと思っています。

